

第10期 運用報告会

【プログラム】

創業10年を迎えて～これからの飛躍～（セゾン投信社長 中野晴啓）

第10期運用報告（セゾン投信 運用部）

投資家から見たセゾンファンド（FCP代表 房前督明氏）

皆さまからの疑問、質問にお答えするQ&Aコーナー

～「セゾン号」乗客の皆さまへ～

セゾン投信の2つのファンドは昨年12月12日に第10期の決算を迎えました。そして本年3月15日には運用開始から10周年を迎えます。

日本に本格的な国際分散型の長期資産育成ファンドを定着させるべく、全国各地の生活者の皆さまとお会いし、“本物の長期投資による資産形成”という目標と価値観でつながる長期投資マネーに支えられ、「セゾン号」はお蔭様で11万7千名を超えるお客さまと共に進む立派な長距離列車へと成長して参りました。

改めて10年に亘り健全で良質な長期投資の環境を実現してくださった「セゾン号」乗客の皆さまに、深く感謝・御礼申し上げます。

2016年の世界経済は大きな転換期に入りました。地球経済が一体的に成長軌道を描くグローバル化構造が始まってから四半世紀を経て、その恩恵がより多くの生活者に拡大し続ける一方で、先進国にその変化への適応力の格差が顕在化したことにより、社会構造の不確実性が炙り出されています。そして政治的には共生社会の更なる進化に向け、グローバル化第一幕の総括を経た第二ステージへと向かう幕間の混沌と、新たなテーマ創造に向けた叢智の結集を求められる2017年でありましょうか。

されど世界中に成長の果実が拡がり始めたグローバル化の流れは、決して途絶えることはないでしょう。それが実体経済の成長軌道です。第四次産業革命とも言われる、極めてイノベーティブな産業構造転換と共に、やがてグローバル化は次のステージが幕を開け、我々長期投資家は地球経済の滔々たる大河の流れに乗って、新たな価値創造が導く成長の糧を提供する役割を果たしながら、悠然と長期投資マネーを育てていく。そのための共通コミュニティとして「セゾン号」は存在し、相変わらずゆったりと長期投資の旅を続けて参ります。

セゾン投信代表取締役社長 中野 晴啓

目次

「第10期運用報告/運用部」補足説明資料	3
「投資家から見たセゾンファンド/房前督明氏」補足説明資料	24
【付 録】	
運用資産総額の推移&10年間のできごと	33
口座開設数の推移&都道府県別お客さまマップ	33
セゾン投信を知る出版物	34
「長期投資×？」の化学反応！？セゾン投信のラジオ風番組	34
セゾン投信を選んだお客さまの声	35

第10期運用報告

セゾン投信株式会社 運用部

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を表したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

株式市場の概況①

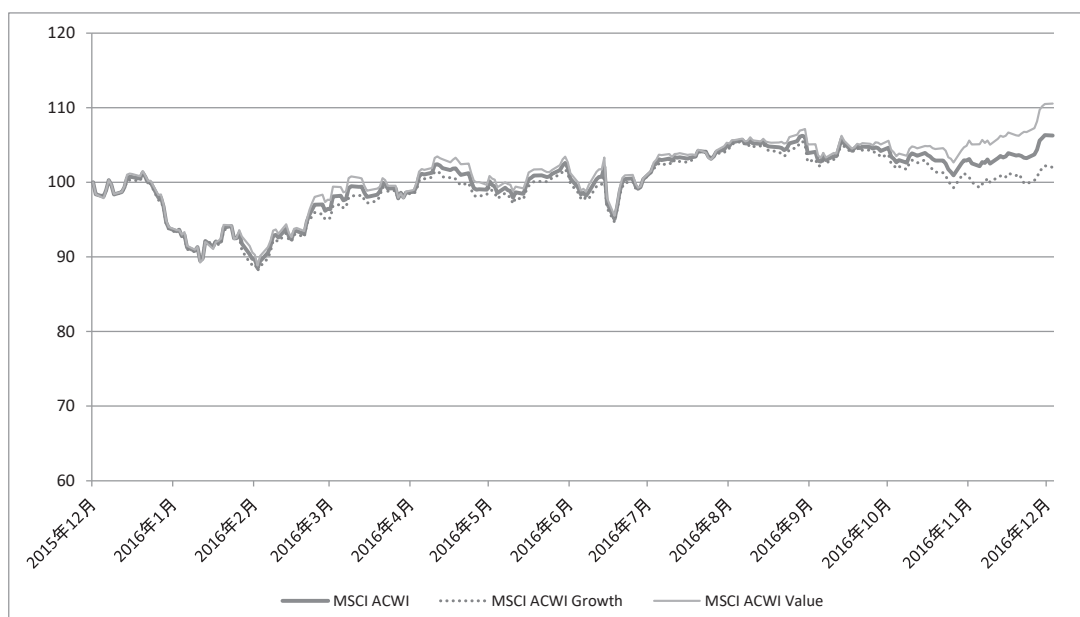
- ▶ 北米、新興国、日本を除く太平洋が大きく上昇。一方、欧州と日本は軟調
- ▶ 地域別株価指数の騰落率(2015/12/10→2016/12/12)
 - ▶ MSCI先進国【ドル】: +5.8%
 - ▶ MSCI北米【ドル】: +10.3%
 - ▶ MSCI欧州【ユーロ】: -2.0% (ドル建て: -4.7%)
 - ▶ MSCI日本株【円】: -1.2% (ドル建て: +4.4%)
 - ▶ MSCI太平洋(日本を除く)【ドル】: +9.4%
 - ▶ MSCI新興国市場【ドル】: +10.5%

株式市場の概況②

- ▶ 資源価格の上昇を受けてエネルギー、素材が上昇したほか、米国の大統領選挙後に金融が上昇
 - ▶ 原油価格(WTI)は+43.7%(2015/12/10→2016/12/12)
- ▶ ヘルスケアは薬価抑制などへの懸念が高まり下落
- ▶ 主な業種別株価指数の動き
(2015/12/10→2016/12/12)
 - ▶ MSCIオールカントリーワールドインデックス【ドル】:+6.2%
 - ▶ 素材:+23.8%
 - ▶ エネルギー:+21.8%
 - ▶ 金融:+11.0%
 - ▶ ヘルスケア:-7.5%

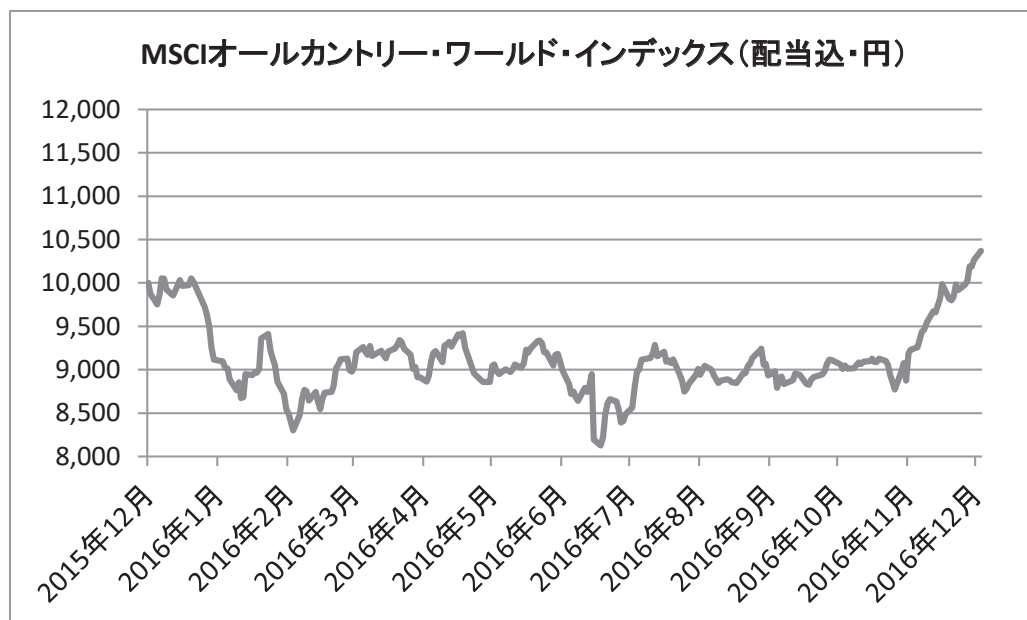
株式市場の概況③

- ▶ グロース指数とバリュースコア指数
 - ▶ 米国の大統領選挙後にバリュースコア指数が大きく伸びる。



株式市場の概況④

- ▶ 2016年初頭の中国不安、6月のイギリスのEU離脱ショックで下落。米国の大統領選挙後に大きく上昇

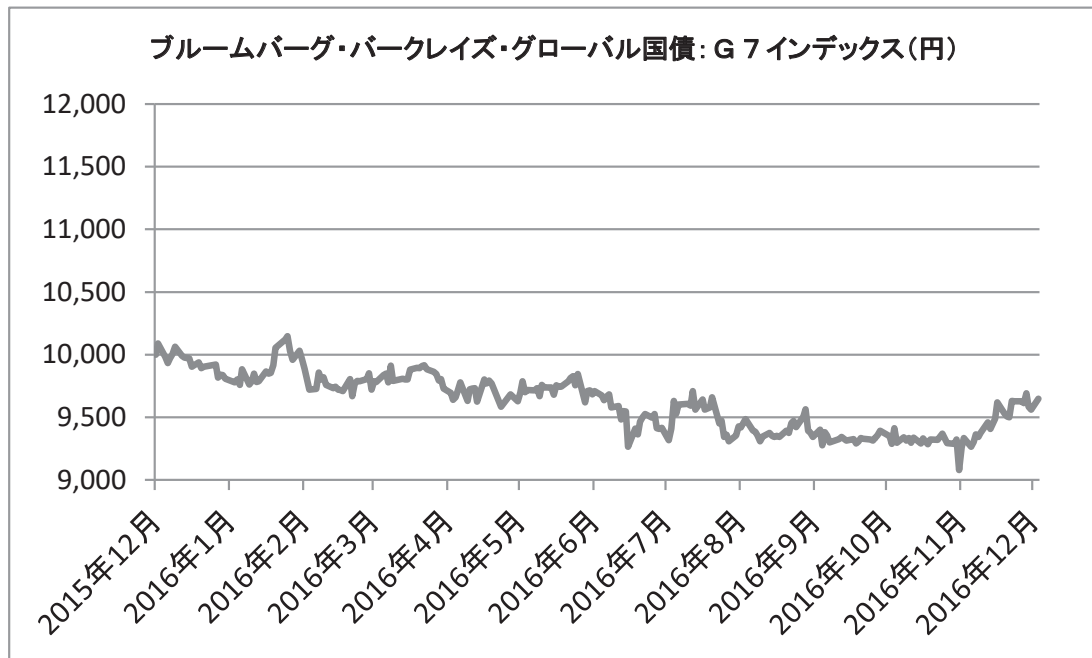


債券市場の概況①

- ▶ 途中まで上昇基調となったものの、終盤に反落
 - ▶ 米国では、2016年に入ってから、利上げが先送りされ、堅調な展開となったものの、大統領選挙後に下落
 - ▶ ユーロ圏では途中まで金融緩和の長期化観測を背景に堅調な展開となったものの、終盤に米国と歩調を合わせて下落
 - ▶ 日本は、日本銀行によるマイナス金利や長期金利操作の導入を受けて堅調
- ▶ 各市場の金利の変化(2015/12/10→2016/12/12)
 - ▶ 米国10年: 2.23%⇒2.47%(+0.24%)
 - ▶ ドイツ10年: 0.57%⇒0.40%(-0.17%)
 - ▶ 日本10年: 0.31%⇒0.09%(-0.22%)

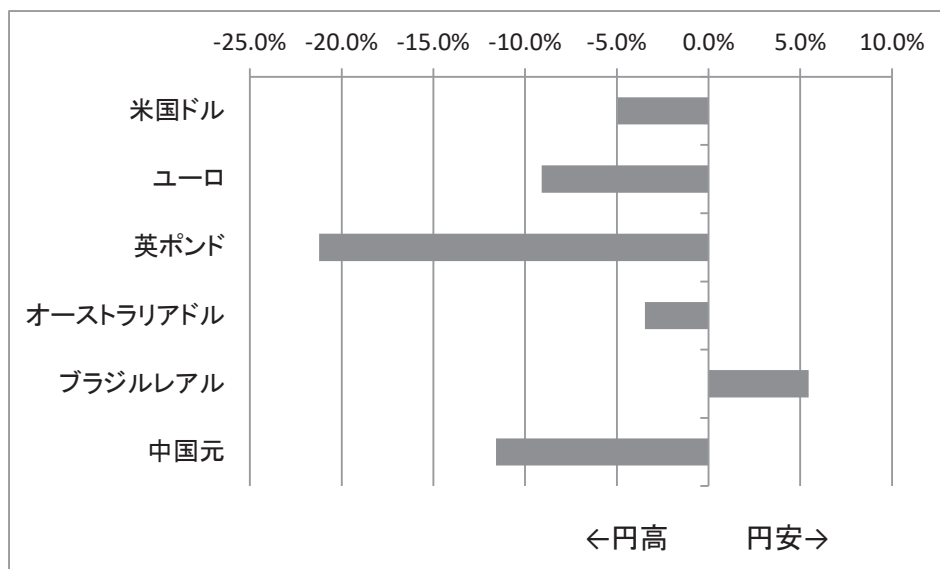
債券市場の概況②

- ▶ 円建てでは、円高の影響を受けて下落基調



為替市場の概況

- ▶ ドルは、利上げが先送りされ途中まで軟調な展開。ユーロも金融緩和の長期化観測を背景に軟調
- ▶ 円は、金融緩和観測の後退などを受けて堅調



期中の基準価額の推移【SVGB】

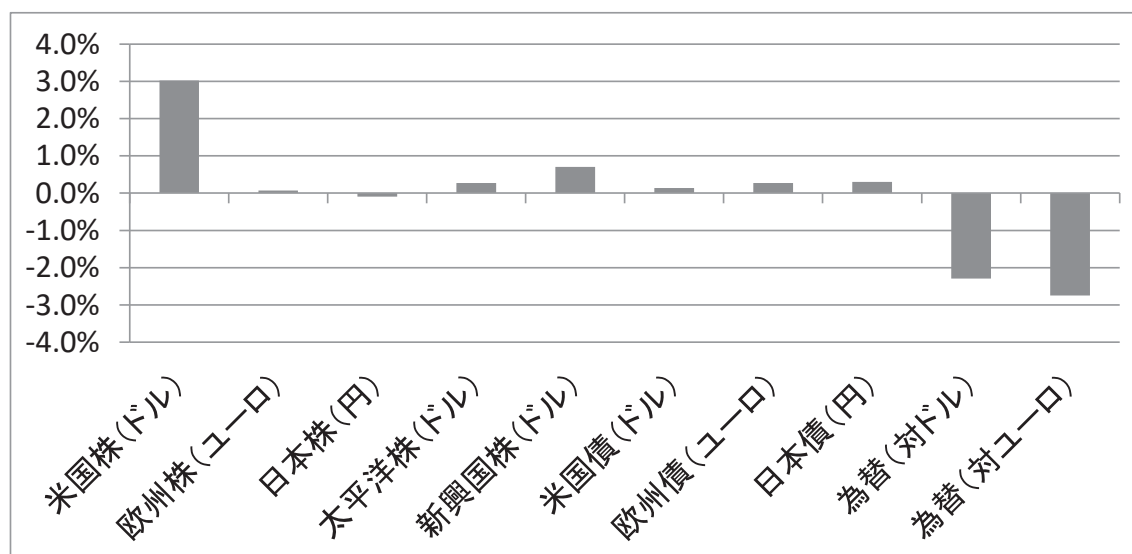
- ▶ 期中の騰落率：-1.7%（13,406円→13,181円）
 - ▶ 2016年の初頭に中国不安から下落し、その後はイギリスのEU離脱を受けて一段と下落する局面もあったものの、11月の米国の大統領選挙後は先行きへの明るい見方が拡がり上昇

期中の基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因【SVGB】

- ▶ 投資先ファンドはプラス寄与となり、特に米国株式が大きな上昇要因。為替はドル、ユーロ共にマイナス寄与



1万口当たりの費用明細【SVGB】

▶ 費用については、特に大きな変動はございません。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年12月11日～2016年12月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	63円 (35) (23) (5)	0.511% (0.284) (0.186) (0.041)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	63	0.512	

期中の平均基準価額は12,332円です。

最近5年間の基準価額等の推移①【SVGB】

▶ 3期連続で上昇した後、2期連続で下落しました。

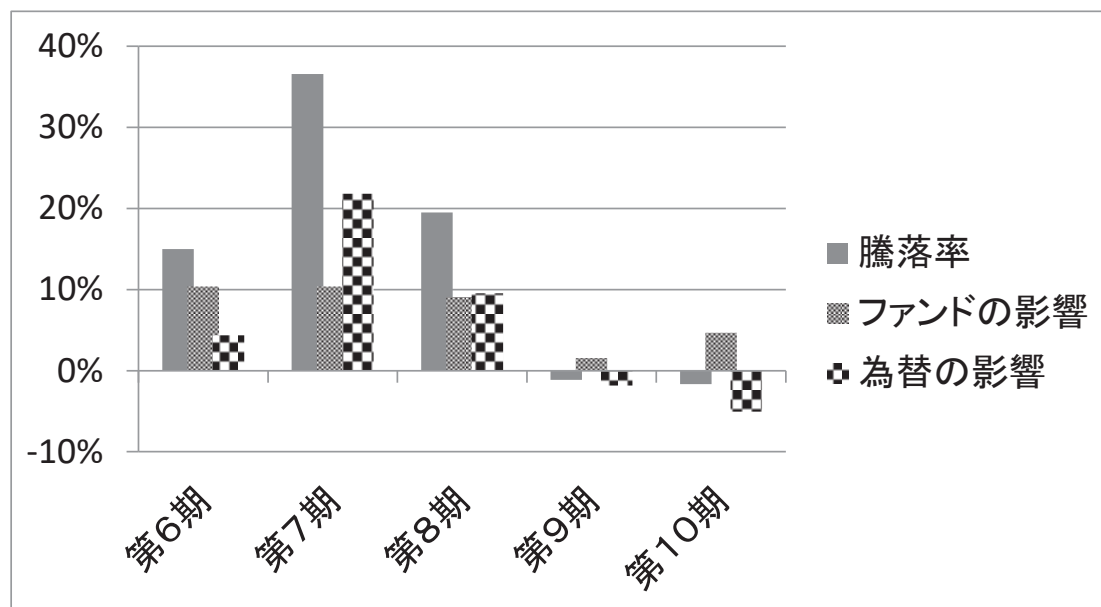
最近5年間の基準価額等の推移



	2011年12月12日 決算日	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日
基準価額 (円)	7,226	8,309	11,347	13,561	13,406	13,181

最近5年間の基準価額等の推移②【SVGB】

- ▶ 投資先ファンドが5期連続のプラス寄与でしたが、為替は2期連続でマイナス寄与でした。



運用経過と結果①【SVGB】

- ▶ 購入とリバランスの為の売却を行っています。
 - ▶ 購入額合計が約215億円、売却額合計が約27億円です。
 - ▶ ファンドの売買回転率は約21%です。(純流入は約17%)

<参考情報>

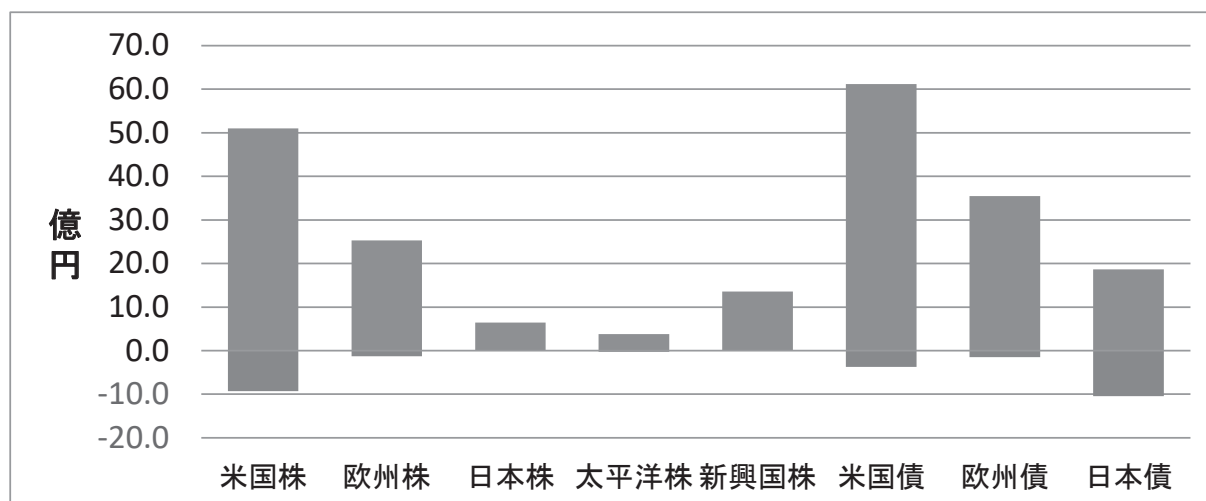
期中の売買及び取引の状況 (2015年12月11日から2016年12月12日まで)

投資証券		買付金額	売付金額
外国	アジア	千円	千円
		646,300	—
	アジア	1,863,700	1,047,678
		千米ドル	千米ドル
	アジア	46,296	8,189
		3,371	243
	アジア	12,150	—
		56,490	3,189
外国	ユーロ圏	千ユーロ	千ユーロ
		20,569	1,068
外国	ユーロ圏	29,641	1,190

- ・金額は受渡し代金です。
- ・千単位未満は切捨てて表示しております。

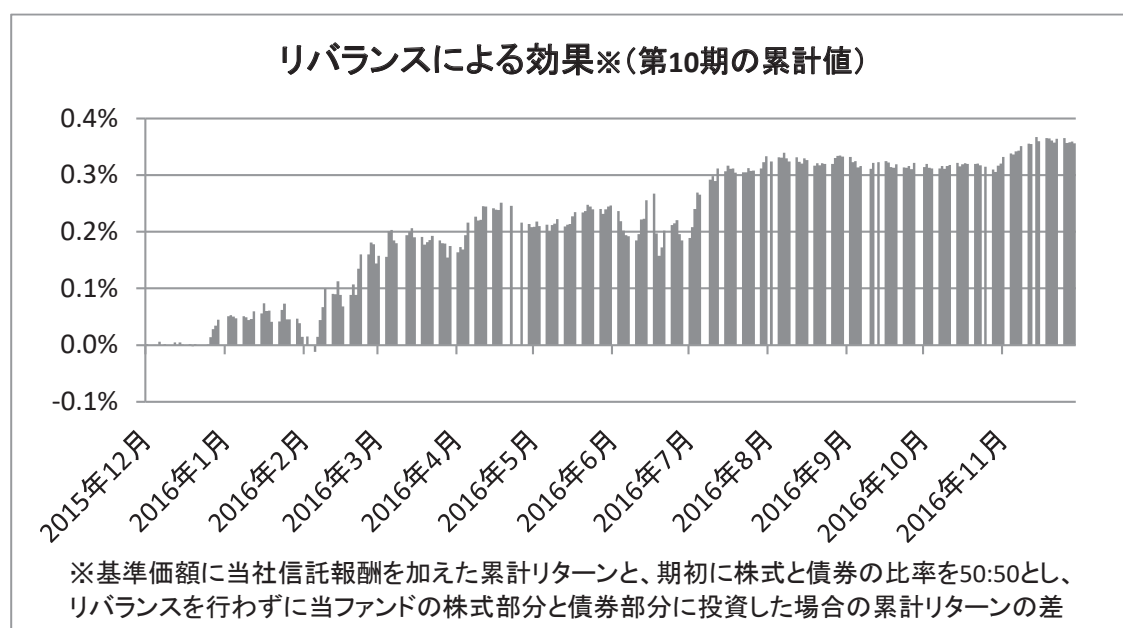
運用経過と結果②【SVGB】

- ▶ 6月までは株式ファンドを中心に投資を行い、その後は債券ファンドを中心に投資を行いました。
- ▶ 1月、6月、12月にはファンドの売却によるリバランスを実施。



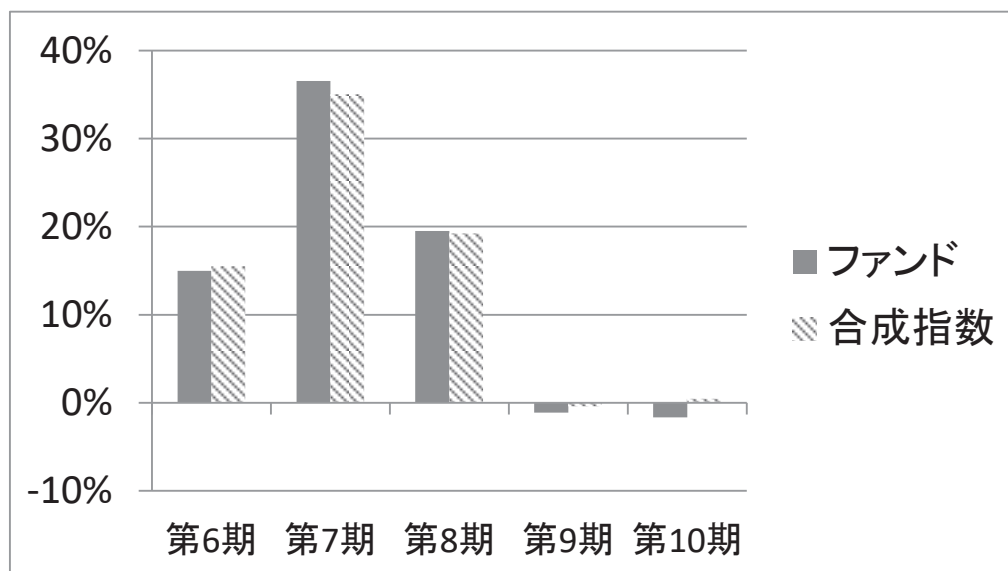
運用経過と結果③【SVGB】

- ▶ 株式と債券のリバランスを行うことにより、リターンが改善しています。



参考指数との差異【SVGB】

- ▶ 概ね株式と債券半々の参考指数と同じ動きとなりました。
- ▶ 参考指数はベンチマークではありません。また、1期末ごとに株式と債券のリバランスを行う想定で算出しています。



分配金【SVGB】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第10期
	2015年12月11日～2016年12月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,962

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針【SVGB】

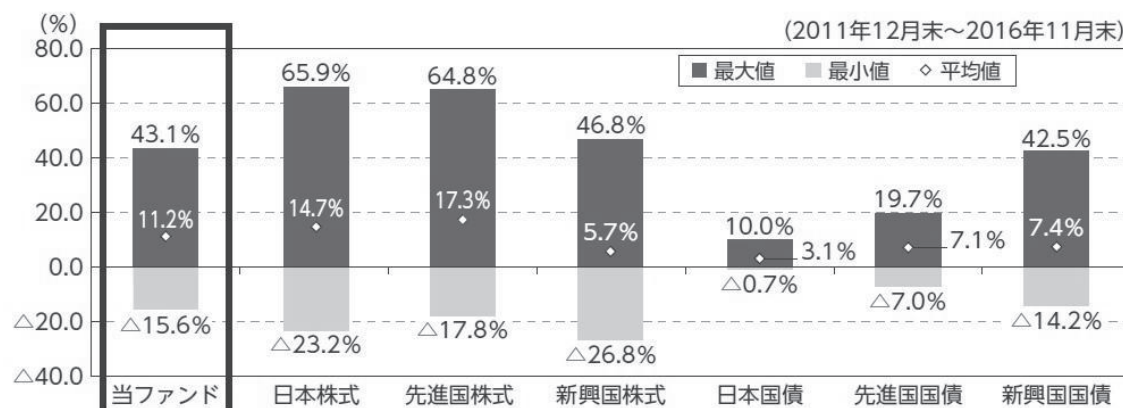
- ▶ 定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。
- ▶ 原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの比較【SVGB】

- ▶ 株式と債券への分散、幅広い国際分散により変動幅が抑えられていることがご確認いただけると思います。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2011年12月から2016年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

期末のファンド組入れ資産【SVGB】

- ▶ 株式：
 - ▶ 新興国や米国の比率が上昇し、欧州の比率が低下しました。
- ▶ 債券：
 - ▶ 米国の比率が上昇し、欧州の比率が低下しました。

当ファンドの組入資産の内容

(2016年12月12日現在)

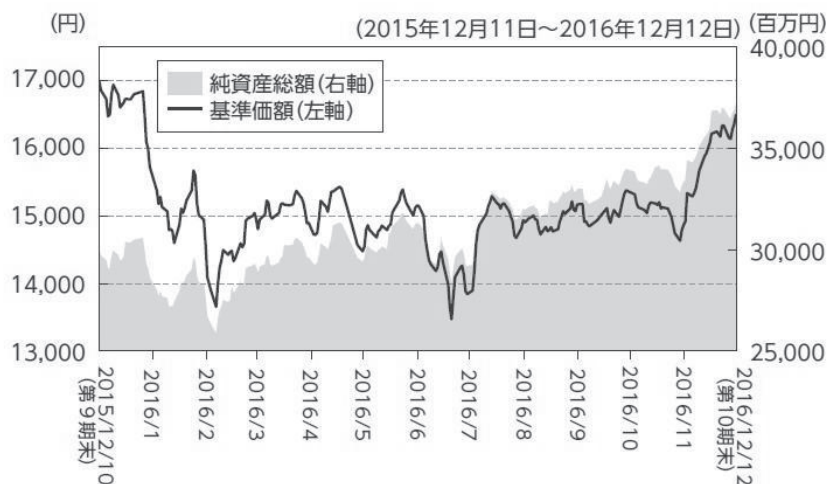
■組入ファンド

	第10期末(2016年12月12日) 組入比率
バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	28.3%
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	23.9%
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	17.3%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	10.9%
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	7.1%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.6%
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	4.1%
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	2.1%
その他(短期金融資産等)	0.6%
組入ファンド数	8銘柄

期中の基準価額の推移【達人】

- ▶ 期中の騰落率：-2.1% (16,995円→16,637円)
 - ▶ 相対的に保有が少ない、エネルギー、素材、金融セクターが上昇するなかで、参考指数(+3.0%)を大幅に下回る結果

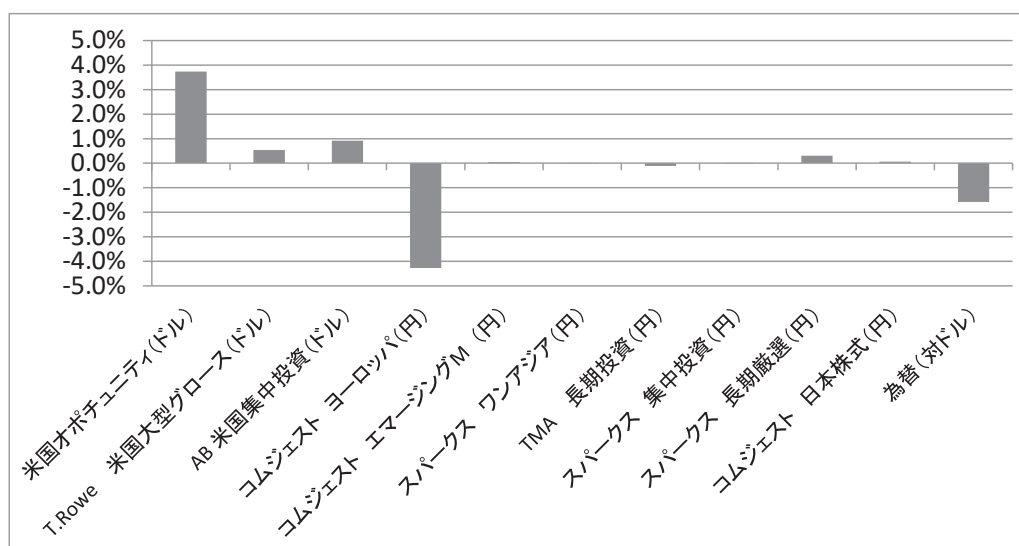
期中の基準価額等の推移



第10期首	16,995円
第10期末	16,637円
(既払分配金)	(-円)
騰落率	△2.1%

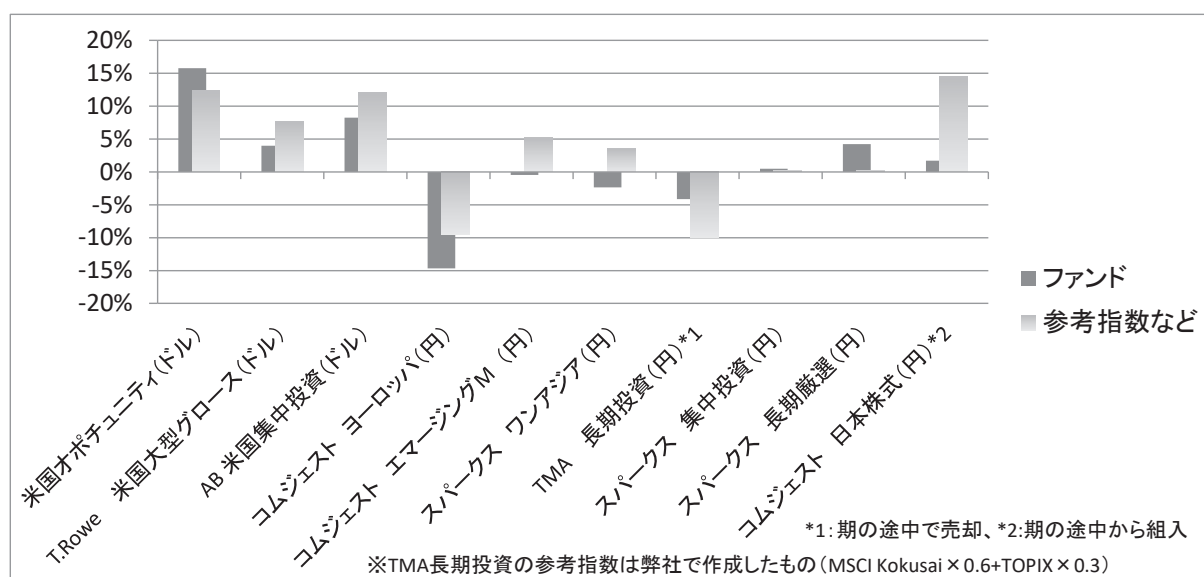
基準価額の主な変動要因①【達人】

- ▶ 米国オポチュニティファンド(ドル)などがプラス寄与となった一方で、コムジェストヨーロッパファンド(円)や対ドルの為替がマイナス寄与でした。



基準価額の主な変動要因②【達人】

- ▶ 米国オポチュニティファンドとスパークス長期厳選、スパークス集中投資、TMA長期投資ファンドを除いてベンチマークや参照指数を下回りました。



1万口当たりの費用明細【達人】

- ▶ 費用については、特に大きな変動はございません。

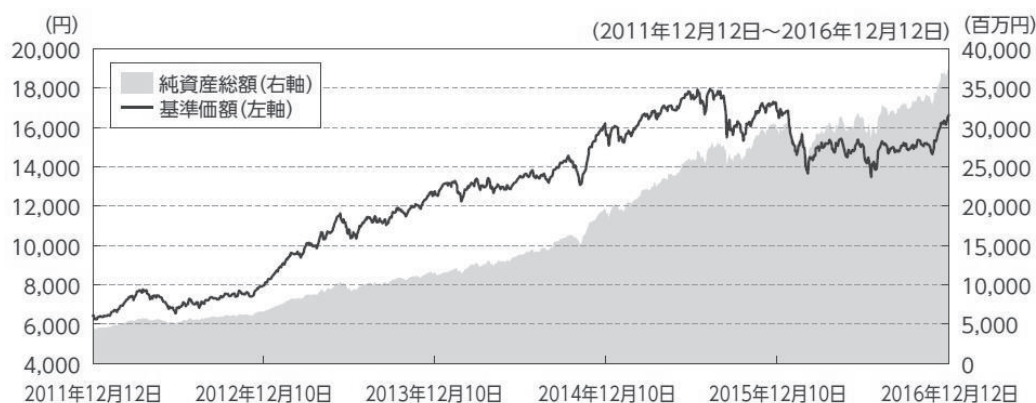
1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年12月11日～2016年12月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	88円 (49) (33) (7)	0.588% (0.324) (0.218) (0.046)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	1 (0) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	89	0.591	
期中の平均基準価額は15,105円です。			

最近5年間の基準価額等の推移①【達人】

- ▶ 第10期は、第5期(2011年12月12日決算)以来、5期ぶりのマイナスでした。

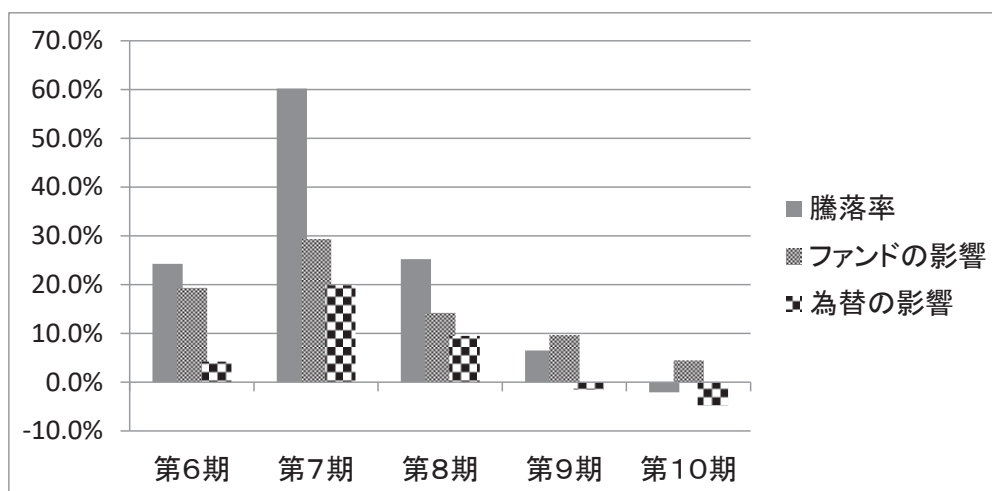
最近5年間の基準価額等の推移



	2011年12月12日 決算日	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日
基準価額 (円)	6,403	7,955	12,743	15,960	16,995	16,637

最近5年間の基準価額等の推移②【達人】

- ▶ 投資先ファンドは、5期連続でプラス寄与でしたが、為替は2期連続でマイナス寄与でした。



※日本コムジェストヨーロッパファンドは、ユーロ建て、
日本コムジェストエマージングマーケットファンド、
スパークスワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算

運用経過と結果①【達人】

- ▶ 購入額合計が約80億円、売却額合計が約7億円です。
- ▶ 売買回転率は約26%です。(純流入が約22%)

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2015年12月11日から2016年12月12日)

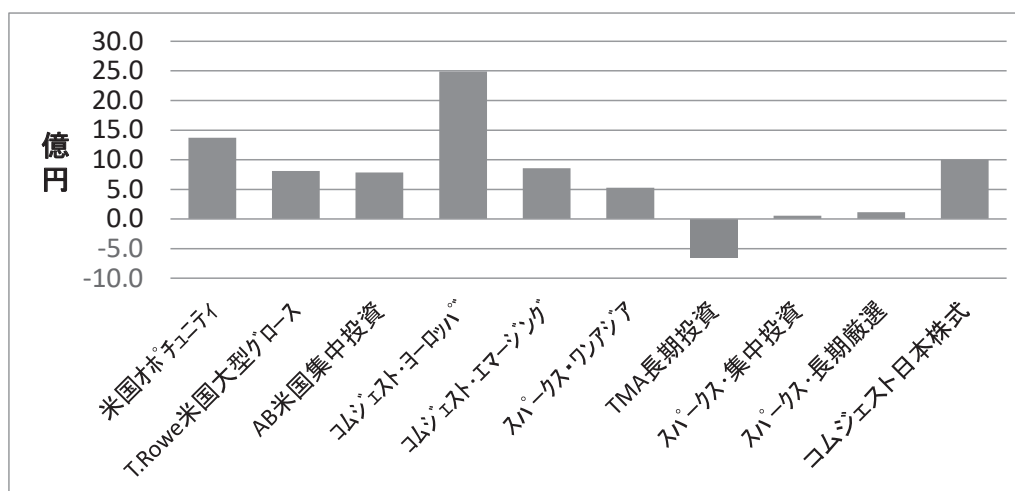
投資信託受益証券		買付 金額	売付 金額
国 内	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA (適格機関投資家限定)	千円 2,490,000	千円 —
	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA (適格機関投資家限定)	855,000	—
	スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定)	530,000	—
	TMA長期投資ファンド (適格機関投資家限定)	—	657,233
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	55,000	—
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	115,000	—
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	1,000,000	—
投資証券		買付 金額	売付 金額
外 国	バンガード米国オポチュニティファンド	千米ドル 12,400	千米ドル —
	T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド アライアンス・パーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポオートフォリオ	7,350 7,100	— —

運用経過と結果②【達人】

- ▶ 第10期の主な投資方針の変化
- ▶ 3月に、投資先ファンドが担う役割を個別銘柄の選別に集中する方針の下、柔軟な資産配分比率の調整を行う、「TMA長期投資ファンド」を全額売却し、持続的に高い成長が期待できる企業に割安と考えられる価格で投資を行う「コムジェスト日本株式ファンド」への投資を開始。
- ▶ 同時に、「スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド」の目標投資比率を若干引き上げ、日本株式の目標投資比率を若干引き下げ。

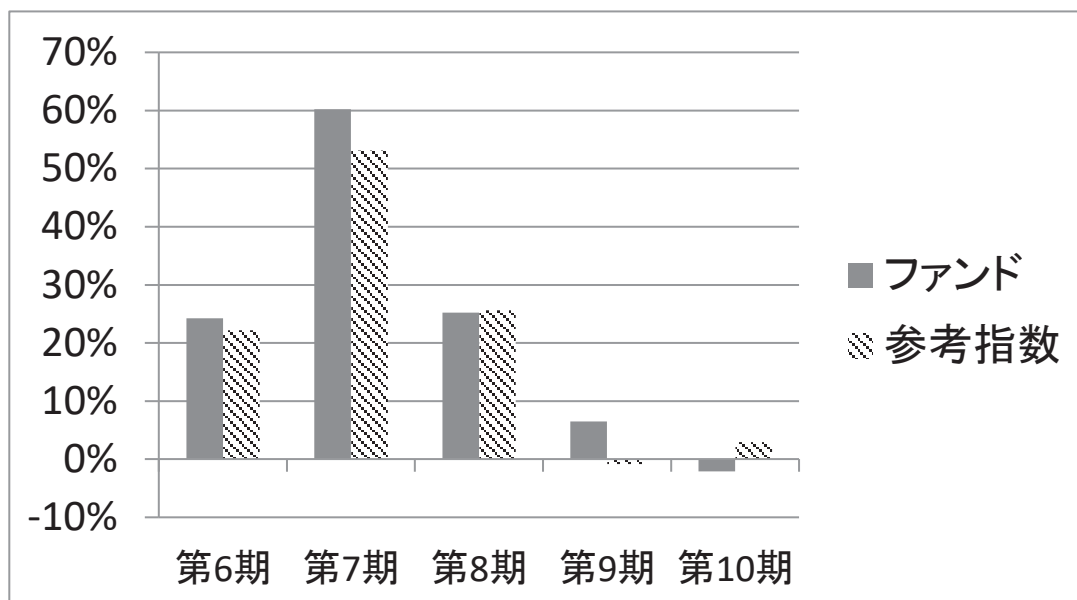
運用経過と結果③【達人】

- ▶ 相対的に軟調な値動きが続いた「コムジェストヨーロッパファンド」などへの投資額が目標比率に対して高めとなった一方で、堅調な値動きが続いた「米国オポチュニティファンド」などへの投資比率が低めとなりました。



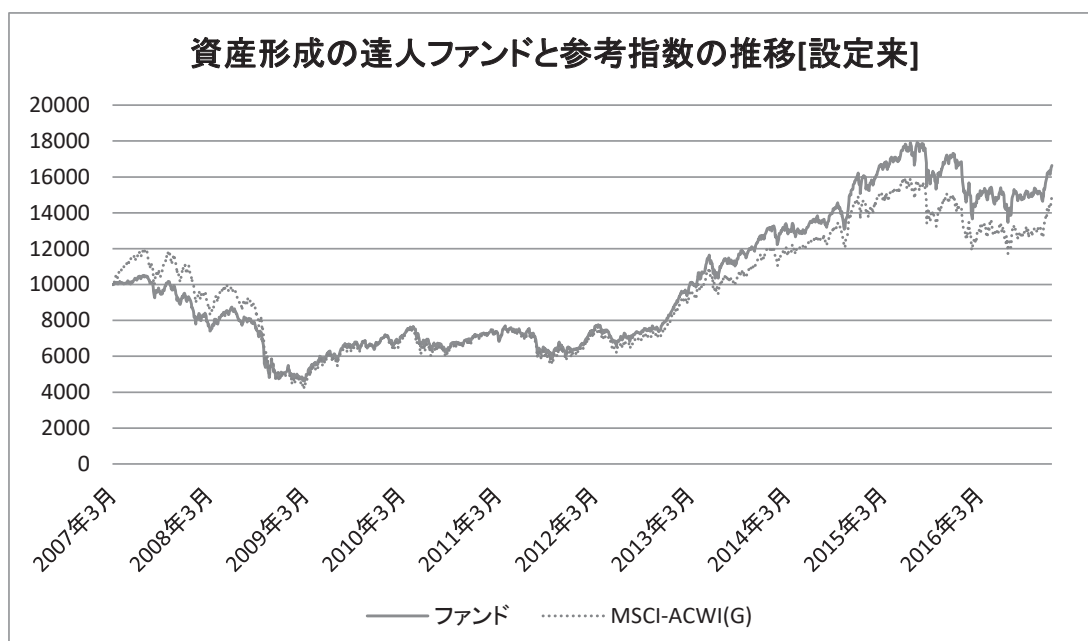
参考指数との差異①【達人】

- ▶ 当期は2期ぶりに参考指数であるMSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を下回りました。



参考指数との差異②【達人】

- ▶ 設定来では、参考指数であるMSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を上回っています。



参考指数との差異③【達人】

- ▶ 第10期は、ファンドの寄与、地域別配分等（信託報酬を含む）の寄与が共にマイナスでした。

	基準価額	参考指数※	差異	ファンドの寄与	地域別配分の寄与等*
設定来	66.4%	48.7%	17.6%	20.1%	-2.4%
第6期	24.2%	22.2%	2.0%	5.3%	-3.3%
第7期	60.2%	53.1%	7.1%	4.3%	2.8%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	0.7%	-1.1%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.1%	0.2%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-4.5%	-0.5%

※MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス（配当込）

*地域別配分比率の寄与等には、当ファンドの信託報酬が含まれています。

分配金【達人】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第10期
	2015年12月11日～2016年12月12日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,318

・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針【達人】

- ▶ 当期は、資源価格の上昇を受けてエネルギーや素材セクターの株式が上昇したほか、終盤に規制緩和期待が高まった金融セクターの株式が上昇しましたが、当ファンドは、長期的な視点で本質的価値を見極めることが比較的難しい、これらのセクターの株式の保有が相対的に少なく、パフォーマンスが参考指数を下回る理由の一つとなりました。
 - ▶ しかし、短期的な価格の動きを予測することは不可能である一方で、長期的に見れば株価は本質的価値を反映していくことから、本質的価値に対して割安な銘柄への投資を継続することが、長期的な資産の成長に繋がるという当ファンドの信念が揺らぐことはなく、これまでと変わらず、投資先ファンドを通じて、投資対象の本質的価値を重視した投資を継続して参ります。
 - ▶ また、地域によって景気の先行きに対する見方は大きく異なりますが、先行きが懸念されている地域の株式市場にこそ、長期的に見て優れた投資機会が存在すると認識しており、投資先ファンドを通じて、株式への投資比率を高位に保つと共に、幅広い地域への投資を継続して参ります。
 - ▶ なお来期には、より長期的な視点で銘柄選択を行う新規ファンドの組入れを行う予定としており、準備が整った時点で、受益者の皆さまにご案内させていただきます。
-

基本となる考え方【達人】

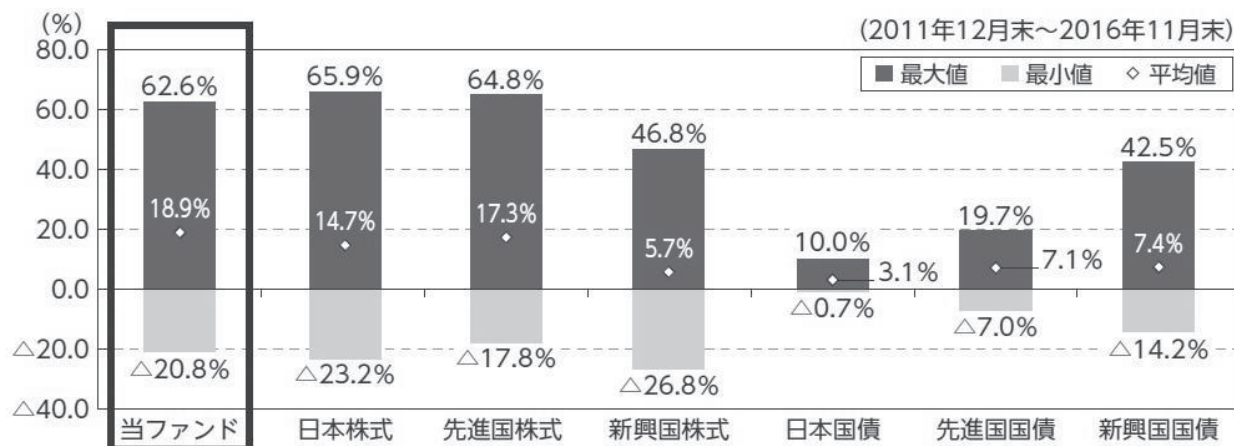
- ▶ 価格の動きを予測することは出来ない。
 - ▶ 常に市場平均を上回る成果を生み出すことは不可能
 - ▶ 調査により将来の価値を見積もることは出来る。
 - ▶ 平均的な参加者よりも長い視点で優れた投資機会を発掘
 - ▶ 調査項目は、ビジネスモデル、競合状況など多岐に亘る。
 - ▶ 何かを諦めることなしに、何かを得ることは出来ない。
 - ▶ 短期的には、パフォーマンス面で忍耐を強いられることがある。
 - ▶ 将来の価値を正しく見積もり、割安な価格で投資することが出来れば、長期的には高いパフォーマンスを得ることが出来る。
-

(参考情報)

代表的な資産クラスとの比較【達人】

- ▶ ファンドの平均リターンは日本株式、先進国株式、新興国株式よりも良好な結果となっています。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



期末のファンド組入れ資産【達人】

- ▶ 新規組入れ以外では、「米国オポチュニティファンド」、「スパークスワンアジア厳選投資ファンド」、「アライアンス・バーンスタイン米国集中投資ファンド」の比率が上昇し、「コムジェストヨーロッパファンド」の比率が低下しました。

当ファンドの組入資産の内容

(2016年12月12日現在)

■組入ファンド

	第10期末(2016年12月12日)
	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	25.6%
バンガード米国オポチュニティファンド	24.7%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	12.4%
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	10.4%
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	10.3%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	6.0%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)	3.8%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	3.4%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	2.7%
その他(短期金融資産等)	0.7%
組入ファンド数	9銘柄

業種別組入れ比率（2016年11月末現在）

- ▶ 業種別の組入れ比率に目標はなく、銘柄選択の結果
 - ▶ 情報技術、ヘルスケアの比率が指数に対して高め
 - ▶ 金融、エネルギーの比率が指数に対して低め

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
一般消費財・サービス	17.4%	12.3%	5.1%
生活必需品	8.7%	9.5%	-0.8%
エネルギー	0.3%	7.2%	-6.8%
金融	6.9%	18.5%	-11.6%
ヘルスケア	19.5%	11.1%	8.5%
資本財・サービス	14.8%	10.8%	4.1%
情報技術	24.8%	15.7%	9.0%
素材	2.6%	5.2%	-2.6%
不動産	0.7%	3.1%	-2.4%
電気通信サービス	3.0%	3.5%	-0.6%
公益事業	1.2%	3.1%	-1.9%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

受益者の皆さまの運用成果（設定来）

- ▶ セゾン・バンガード・グローバル・バランスファンド
 - ▶ 基準価額上昇率:2.9%/年
 - ▶ 金額加重収益率※:5.9%/年
- ▶ セゾン資産形成の達人ファンド
 - ▶ 基準価額の上昇率:5.4%/年
 - ▶ 金額加重収益率※:9.5%/年

※金額加重収益率:設定来の全ての受益者の平均収益率

積立の平均約定金額と平均基準価額の比較

▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

- ▶ 積立による平均取得価格: 9,764円 (+0.11%)
- ▶ 基準価額の平均: 9,753円

▶ セゾン資産形成の達人ファンド

- ▶ 積立による平均取得価格: 10,061円 (+0.28%)
- ▶ 基準価額の平均: 10,033円

▶ 対象期間

- ▶ 積立: 2007年5月～2016年11月 (115回)
- ▶ 基準価額: 2007年5月1日～2016年11月30日

今後とも、2つのファンドの運用を通じて、受益者の皆さまの資産形成のお役に立てるよう、努めて参ります。

MEMO

投資家から見たセゾンファンド

F C P-ファンドコンサルティングパートナーズ 房前督明氏

このテキストのいかなる部分も一切の権利はFCPに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

1. ファンド選択のポイント

- ①ファンドの運用の目的が理解できるか
- ②その目的を果たすように運用されているか
- ③その結果が満足すべきであるか
- ④将来も継続すると期待していいか

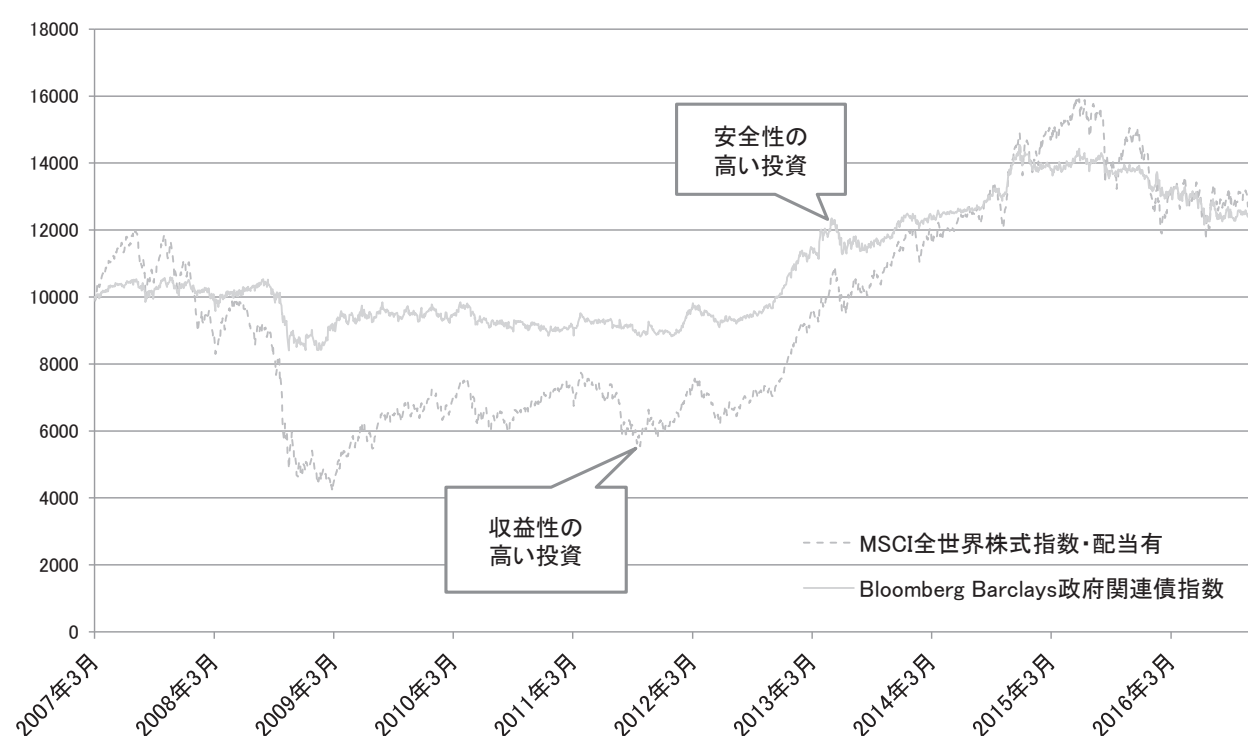
2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【運用の目的】

- ・市場の時価総額を基準として、世界の株式と債券に1:1の割合で投資する。
- ・価格変動に応じて、定期的にリバランスを行う。
- ・為替ヘッジは原則として行わない。

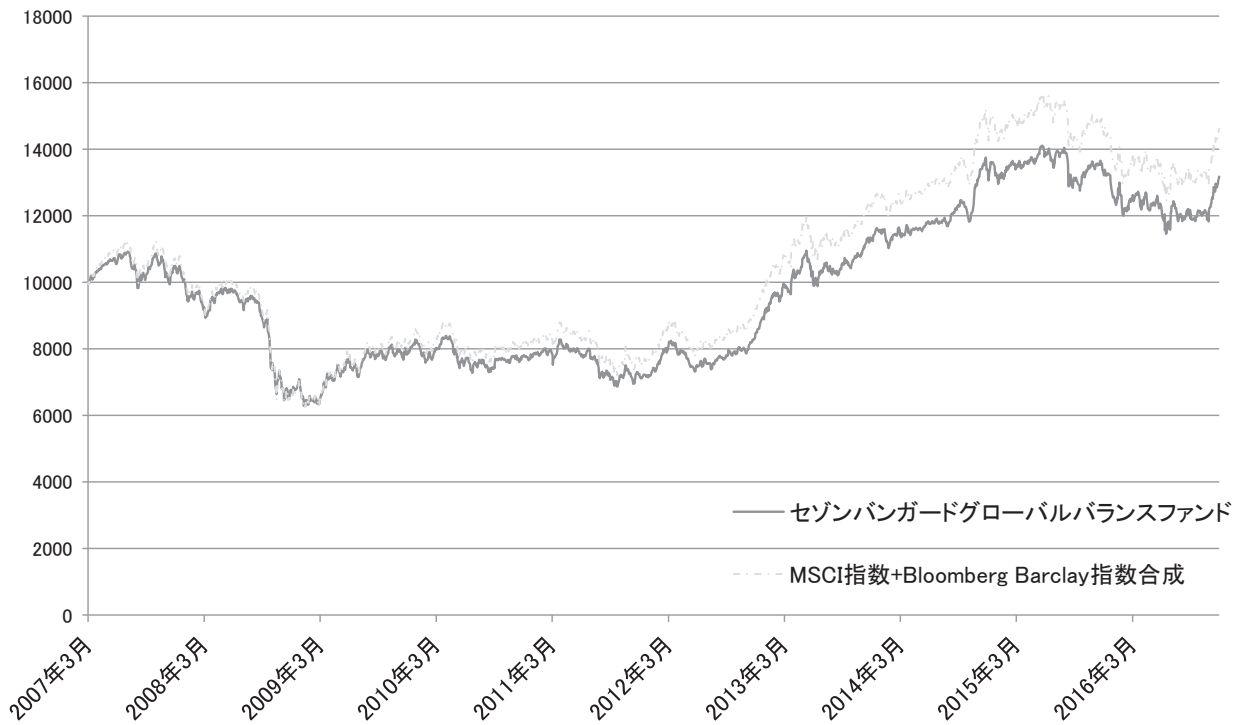
2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【運用のイメージ】



2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【合成指数とファンドの基準価額の比較】



2.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

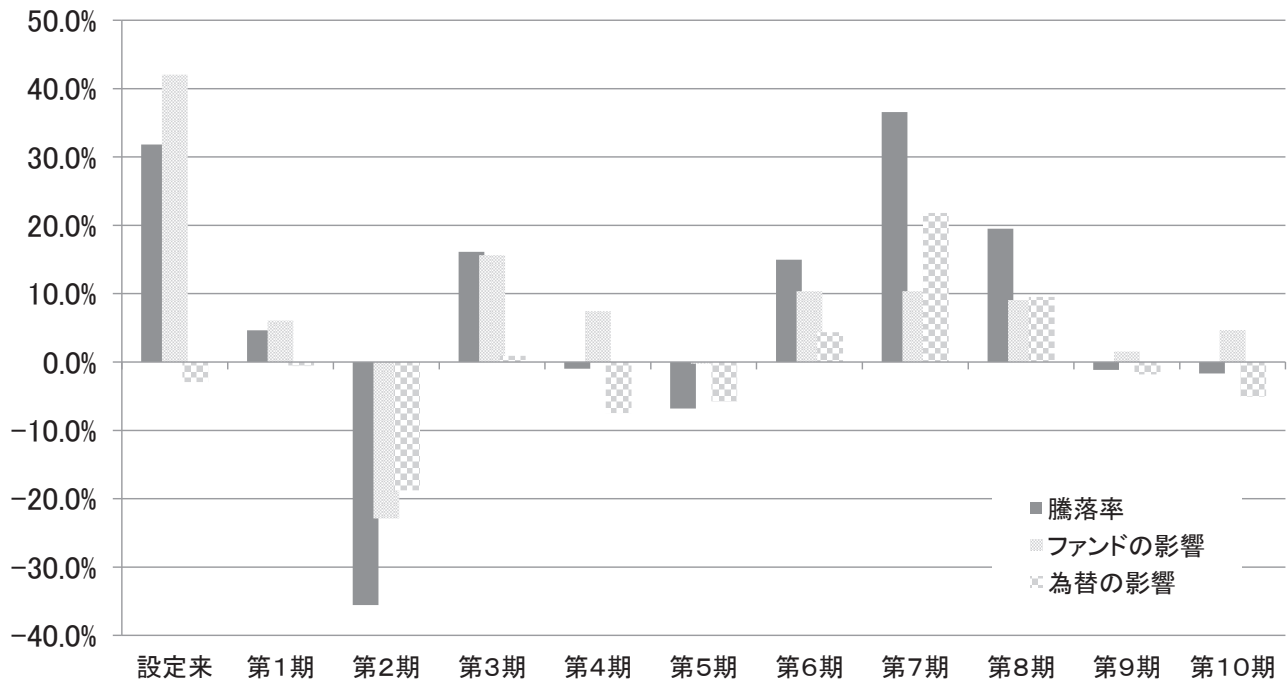
【リスクとリターンの特性】

	セゾン・ バンガード・ グローバル バランスファンド	MSCI全世界株 式指数(配当有・ 税引後)	Bloomberg Barclays政府関 連債指数	MSCI指数 +Bloomberg Barclays指数合 成
年換算収益率	2.88%(3.41%)	4.15%(4.28%)	2.96%(3.68%)	3.98%(4.42%)
年換算標準偏差	11.9%(11.8%)	20.5%(20.7%)	12.1%(11.8%)	14.3%(14.1%)

()内は設定来から第9期末まで

2. セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【期別の変動要因(ファンド(株、債券)、為替)】



3. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用の目的】

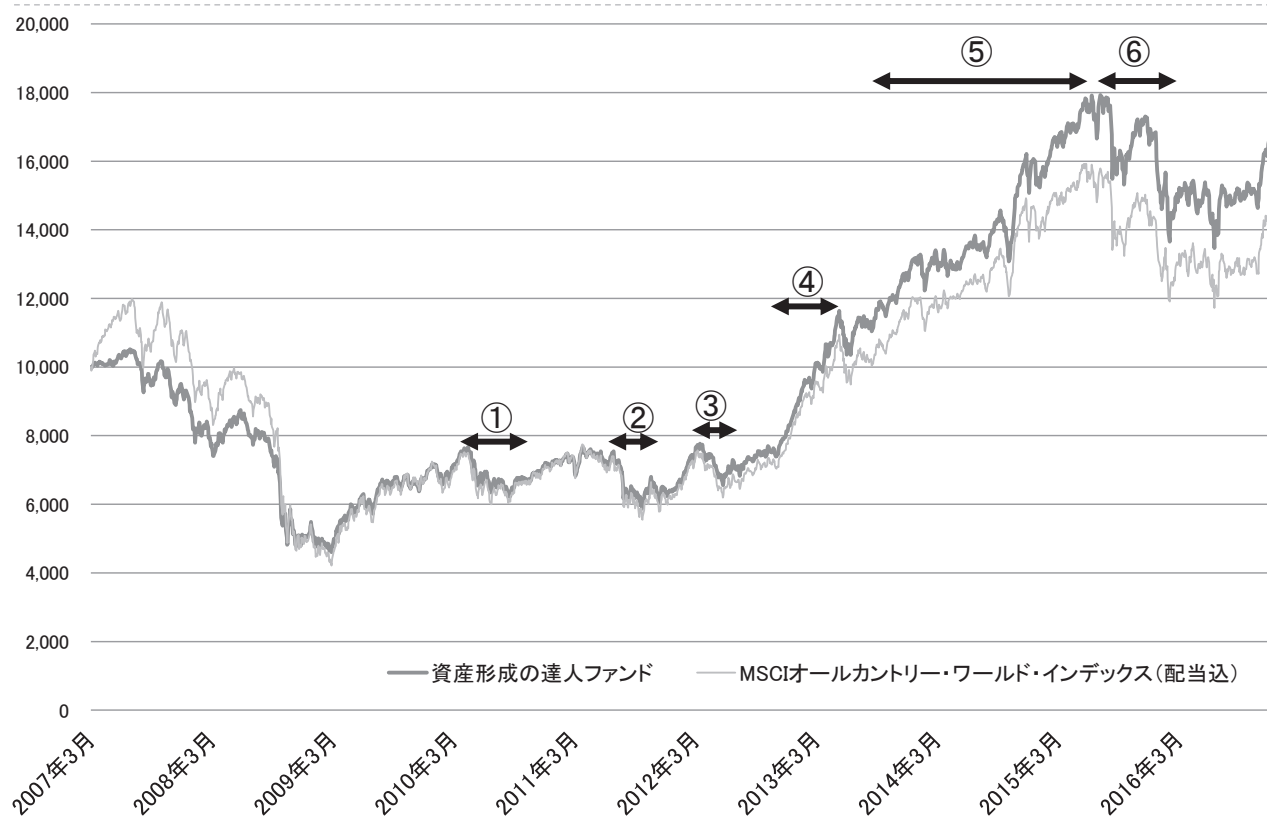
- ・世界におけるグッドカンパニーの株式に割安に投資することにより、市場平均を上回るリターンの獲得を目指すファンドを見つけてそのファンドに投資する。
- ・為替ヘッジは原則として行わない。

3. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用のイメージ】



3. セゾン資産形成の達人ファンド



3. セゾン資産形成の達人ファンド

【ファンドの選択効果】

	基準価額	参考指数※	差異	ファンドの寄与	地域別配分の寄与等※※
設定来	66.4%	48.7%	17.6%	20.1%	-2.4%
第1期	-5.1%	9.8%	-14.9%	0.1%	-15.1%
第2期	-47.2%	-54.3%	7.1%	-1.9%	9.0%
第3期	32.3%	31.0%	1.3%	4.0%	-2.7%
第4期	7.3%	6.3%	1.0%	1.7%	-0.6%
第5期	-10.0%	-11.5%	1.5%	1.4%	0.1%
第6期	24.2%	22.2%	2.0%	5.3%	-3.3%
第7期	60.2%	53.1%	7.1%	4.3%	2.8%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	0.7%	-1.1%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.1%	0.2%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-4.5%	-0.5%

※MSCIオールカントリーワールドインデックス(配当込)

※※地域別配分比率の寄与等には当社の信託報酬が含まれています。

3. セゾン資産形成の達人ファンド

【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
バンガード・米国オポチュニティファンド ラッセル3000種指数	11.4% 7.1%	25.1% 23.7%
Tロウプライス・米国大型グロースファンド ラッセル1000種指数	18.5% 18.1%	21.6% 20.3%
AB・米国集中投資株式ファンド S & P500指数	1.8% 3.4%	22.4% 20.7%
コムジェスト・ヨーロッパファンド MSCIヨーロッパ指数	6.4% 1.5%	23.0% 29.0%
コムジェスト・エマージングマーケットファンド MSCIエマージング指数	4.6% 1.4%	24.7% 26.5%

3. セゾン資産形成の達人ファンド

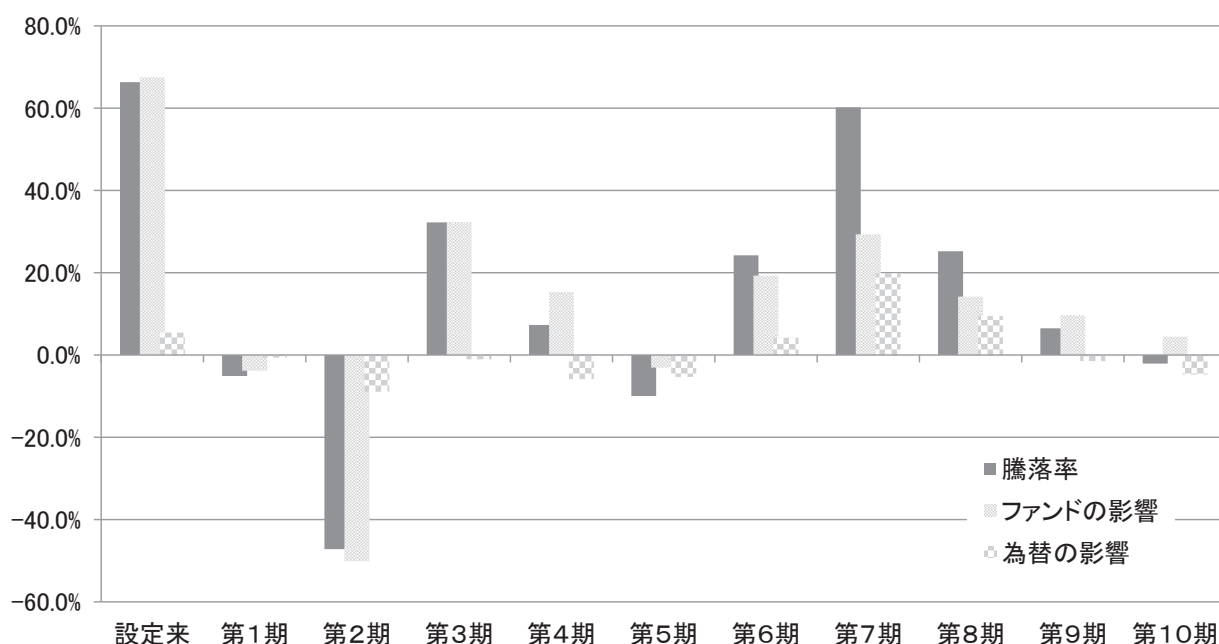
【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド MSCIアジア太平洋指数	-6.1%	17.7%
	-5.4%	21.2%
スパークス・集中投資・日本株ファンド TOPIX	17.7%	21.1%
	9.8%	21.0%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド TOPIX	25.0%	18.7%
	17.3%	21.1%

各ファンドの組み入れ開始日(当ファンドの評価日基準)は、バンガード 米国オポチュニティファンドは2007年8月15日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>は2008年3月12日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>は2008年3月31日、スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は2010年3月19日、T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドは2011年2月15日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は2011年9月13日、アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(クラスI)は2015年3月23日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は2015年3月24日 です。

3. セゾン資産形成の達人ファンド

【期別の変動要因(ファンド、為替)】



※日本コムジェストヨーロッパファンドはユーロ建て、日本コムジェストエマージングマーケットファンド、スパークスワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算しています。

3. セゾン資産形成の達人ファンド

【リターンとリスクの特性】

	資産形成の 達人ファンド	MSCIオールカントリーワールド インデックス(配当有)
年換算収益率	5.4%(6.3%)	4.2%(4.3%)
年換算標準偏差	16.9%(17.0%)	20.5%(20.7%)

()内は設定来から第9期末まで

3. セゾン資産形成の達人ファンド

<下げ局面>

		基準価額	MSCIオールカントリー ワールドインデックス※	差異
①	2010/04/27	7,669	7,493	
	2010/09/01	6,222	6,077	
	騰落率	-18.86%	-18.90%	+0.04%
②	2011/04/08	7,654	7,739	
	2011/10/05	5,869	5,560	
	騰落率	-23.32%	-28.16%	+4.84%
③	2012/03/28	7,768	7,475	
	2012/07/26	6,830	6,440	
	騰落率	-12.07%	-13.85%	+1.78%
⑥	2015/08/12	17,842	15,694	
	2016/02/15	13,653	11,911	
	騰落率	-23.48%	-24.10%	+0.62%

3. セゾン資産形成の達人ファンド

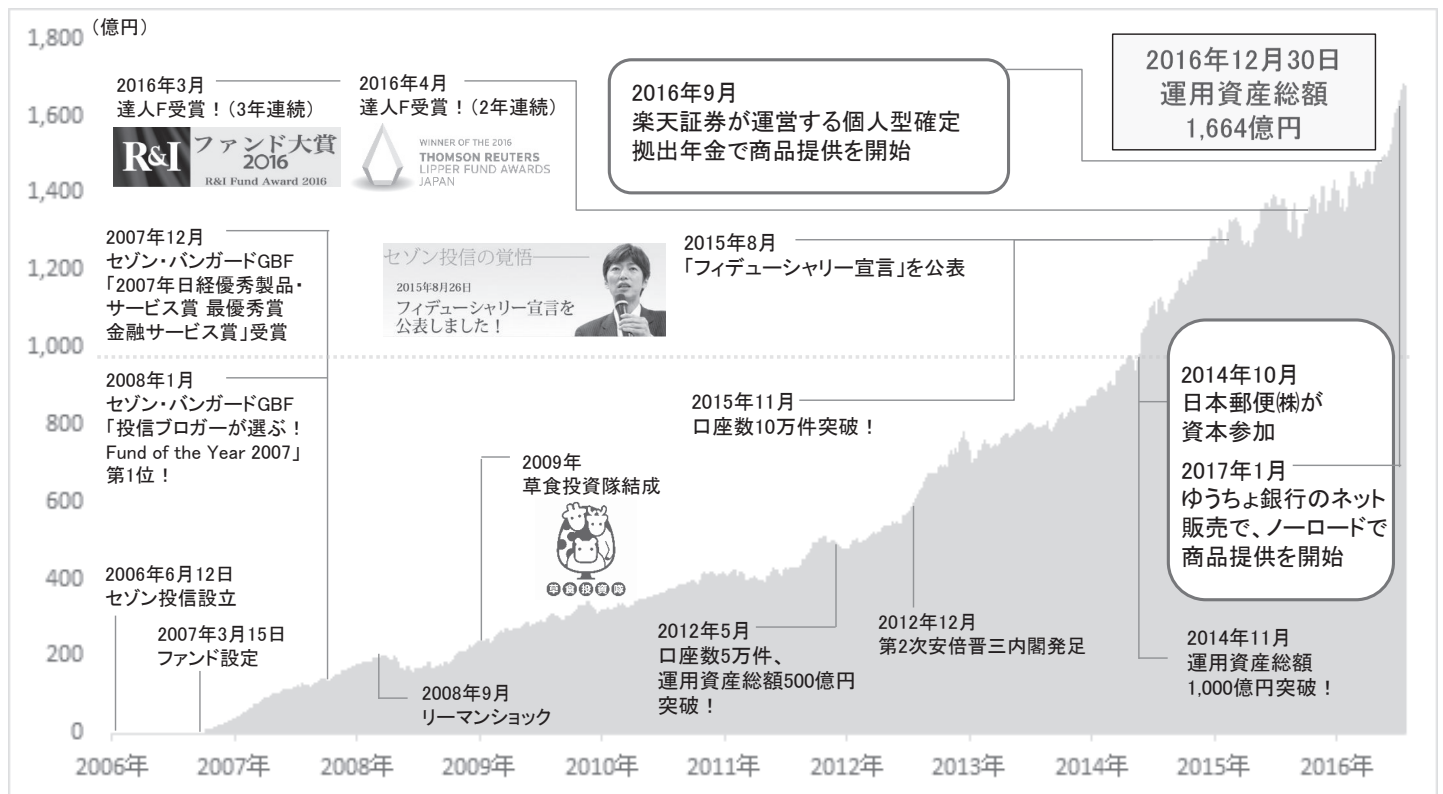
<上げ局面>

		基準価額	MSCI オールカントリー ワールドインデックス	差異
④	2012/11/12	7,393	7,043	
	2013/05/23	11,639	10,928	
	騰落率	+57.43%	+55.16%	+2.27%
⑤	2013/06/14	10,358	9,537	
	2014/12/10	15,960	14,550	
	騰落率	+54.08%	+52.56%	+1.56%

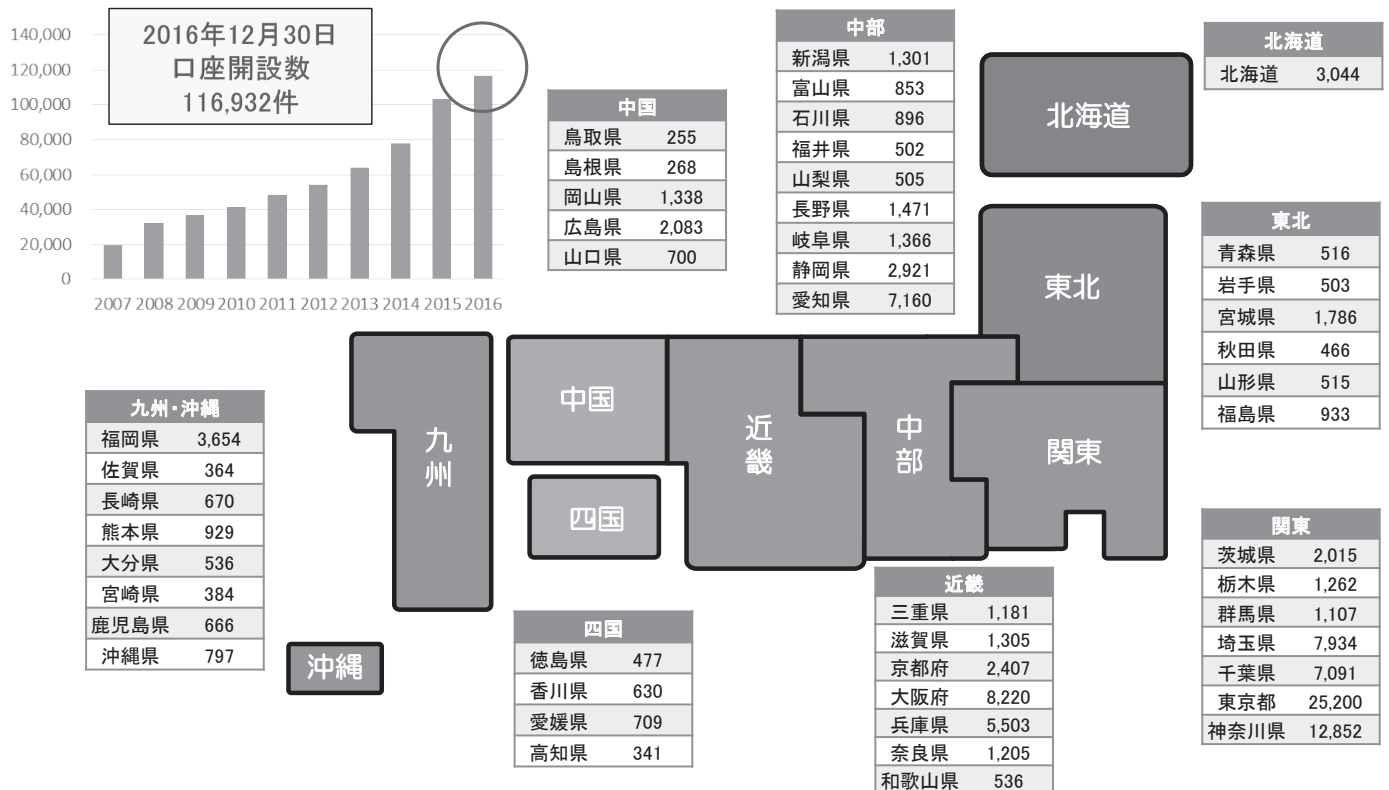
※設定日を10,000として換算した値

MEMO

(付録) 運用資産総額の推移&10年間のできごと



(付録) 口座開設数の推移&都道府県別お客さまマップ



(付録) セゾン投信を知る出版物

マンガでまる分かり!
知らない後悔する「iDeCo」～確定拠出年金～



著者：井戸美枝、中野晴啓
出版社：幻冬舎
発売日：2017年2月1日
定価：1,300円(税別)

退職金バカ
50歳から資産を殖やす人、沈む人



著者：中野晴啓
出版社：講談社+α新書
発売日：2016年9月21日
定価：800円(税別)

預金バカ
賢い人は銀行預金をやめている



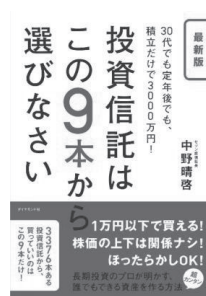
著者：中野晴啓
出版社：講談社+α新書
発売日：2014年7月22日
定価：840円(税別)

見る読む深くわかる
【入門】投資信託のしくみ



著者：中野晴啓
出版社：日本実業出版社
発売日：2014年10月20日
定価：1,400円(税別)

最新版 投資信託はこの9本から選びなさい
30代でも定年後でも、積立だけで3000万円!!



著者：中野晴啓
出版社：ダイヤモンド社
発売日：2013年7月19日
定価：1,500円(税別)

この他にも、ホームページでは数多くの出版物をご紹介します。皆さまの「長期投資」の一助としてご活用ください。

QRコードを読み取っていただくと、該当ページに遷移します。



(付録) 「長期投資×？」の化学反応!? セゾン投信のラジオ風番組



iTunes登録者数が急増中!

毎回魅力あるゲストと対談するラジオ風番組です。
毎月2回にわたって対談の様態を音声コンテンツとしてお届けしています。
ゲストは業界をまたいで多彩。

『長期投資×?』の化学反応により何が生まれるのでしょうか。



出口 治明 氏
ライフネット生命保険
代表取締役会長



蟹瀬 誠一 氏
国際ジャーナリスト・キャスター



浜 矩子 氏
同志社大学大学院教授



セゾン投信のサイト(QRコード)から直接視聴するか
Podcast 用アプリをインストールのうえ番組を「はるラジ」で検索してお聞きください。

(付録) セゾン投信を選んだお客さまの声



20代 女性

セゾン投信をはじめたのは、将来が不安だったからです。毎月5,000円でバランス型の商品が購入できることが魅力でした。初心者なので、どのファンドを選べばよいのか全く判断できなかったのですが、セゾン投信のシンプルなスタイルは私にピッタリだと思いました。毎月コツコツ長期運用を目指します！

セゾン投信ができた当時から購入していますが、納得のできる運用をされていると思います。日本円だけの資産を持つというリスクを危惧しておりますので、今後もコツコツと国際分散投資を行いたいと思います。



30代 男性



50代 女性

自分なりに色々調べた結果、これだと思いました。これ1本で世界に分散投資ができ、そしてなにより安心して長期投資できると思ったからです。シンプルな商品設計は理解しやすく美しいです。何年もほったらしにしてもいいと思う投信は、なかなか見つかりません。

セミナーに参加されたお客さまの声をご紹介しますページもございます。



ご留意事項

- ▶ 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託へご投資の際は、信託報酬等所定の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用等については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。
- ▶ ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえご自身でご判断ください。
- ▶ MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ▶ ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- ▶ 特に断りが無い限り、参考指数は投信協会発表の評価用為替レートを利用して円建てに換算しています。



いそがないで歩こう。